

選ぼう平和 とめよう戦争

7月8日、国連で核兵器禁止条約が採択。世界は着実に「核なき世界」への歩み。私たちの命を守る活動は、平和であってこそ。憲法改悪を許さないたたかいへ。

この夏、さらに「核も戦争もいらない」「平和憲法を活かす日本へ」の声を高らかにあげていきましょう。平和行進・原水爆禁止世界大会への参加にあたって事前学習を重視しています。学び、体験し、平和の尊さを実感する夏にしましょう。



全日本の
ポスターを
活用しよう!

原 水爆禁止世界大会に初めて参加します。原爆の被害についてしっかり学びたい。みんなの核兵器廃絶と平和への気持ちが込められた千羽鶴と核廃絶の署名をいっぱい集めて届けたいです。

(神戸協同病院 THさん)

国 民平和大行進には、医療生協だけでなく、多くの団体や理事、

組合員の方が参加されており、皆さんの活動に対する熱い想いが伝わってきました。このような活動を通して、多くの人に平和活動の存在を知ってもらうとともに、自分たちが住みやすいまちや日本の平和について考え、声を上げていくことは大切であると思いました。

(姫路医療生協 EKさん)

7月8日(土)に宝塚市役所から阪神尼崎駅まで参加させていただきました。核兵器禁止条約が国連で採択された翌日であり、核兵器廃絶へ向けて一層参加者が一致団結したように感じました。東京から雨の日も風の日も欠かさず繋がれて来たバトンを引き継いでいるのだと考え、身の引き締まる思いでした。平和大行進への参加は初めてでしたが、途中地域住民の方から「頑張ってるね」、「ありがとう」とお声かけいただき、同じ思いの方が地域におられることを実感できました。

(尼崎医療生協病院 TAさん)

原水爆禁止世界大会プレ企画

7月17日(祝)、県連ジャンボリー実行委員会も加わっている「原発ゼロ!核兵器ゼロ!ゼロこねっと」によるプレ企画が行われました。第1部では原水禁世界大会起草委員長の富田宏治先生を講師に、7月7日に国連で採択された核兵器禁止条約について学びました。条約は使用以外に開発・実験・生産・製造・取得・貯蔵や、威嚇=核抑止力も禁止されてお

り、核兵器廃絶に向けての大きな力になることが話されました。第2部では芦屋被爆者の会の千葉孝子さんより、「被爆者が体験を語ることはとてもつらいことで、ほんの一握りしか語っていない。差別を受けるからと、被爆者手帳をもっていない被爆者もたくさんいる」と、自らの体験を踏まえて語られました。